

小学部 ことば・かずBグループ 学習指導案

学習指導者 平岡 千明 (T1)

朝倉由里乃 (T2)

1 日 時 令和2年7月3日(金) 第2校時

2 場 所 小学部3組

3 題 材 物語を聞いて、表現しよう～三匹のこぶた～

4 題材について

- (1) 読み聞かせは、指導者の話を聞きながら、物語の展開を楽しみに、様々な言葉に親しむことができる題材である。日常生活にない場面を想像して理解することが苦手の児童にとって物語の内容を理解して楽しむことは難しいと思われるが、繰り返す言葉のリズムに親しんだり、登場人物に注目したりすることで、物語に関心をもつきっかけになり興味が広がるのではないかと考える。本時で取り上げる「三匹のこぶた」は、繰り返しのある場面展開になっており、登場人物も狼と子豚のやり取りで展開されているため、ストーリーの見通しがもちやすい。物語の中に出てくる言葉には「わら、木、レンガ」など馴染みのないものもあるが、具体物を使うことでイメージを広げることも可能だと考える。また、「はこぶ」「つくる」「こわれる」など身近な動きの言葉も含まれており、言葉と動きを結び付けながら動作化することもでき、理解できる語彙を増やし、小学部段階の児童にとって言葉の理解や表現力を育む基礎となると考える。さらに、読み聞かせに親しみ気になる場面や登場人物が増えることで、様々な物語への興味を広げることや、語彙の広がり豊かな生活へとつながることも期待できる。以上の理由から、本題材を設定した。
- (2) 本グループの児童は、3年生、4年生、5年生、6年生(男子各1名)の計4名で構成されている。興味のある動画や絵本・図鑑などを好んで、休み時間に楽しんでいる児童は多いが、内容を理解している児童は少なく、初めて聞く物語の読み聞かせなどには注目し続けることが難しい児童が多い。身近な名詞を聞いたり、日常で繰り返される指示を聞いたりすることで、理解できて活動している児童が多いが、文章表現の意味を理解して活動することは難しい児童が多い。文字については、読んで意味理解ができる児童は少ない。明確な発語がある児童は1名のみで、言葉で表現することが難しい児童が多い。指導者の「△△(物)を□□する○○(登場人物)」などの3語程度の文章を聞いて、それに応じたイラストを選ぶことができる児童もおり、少しずつ物語に関するイラストに興味をもって見るようになってきている。
- (3) 指導に当たっては「みんなで勉強」「一人で勉強」で構成し、授業の流れを一定にすることで見通しがもてるようにする。「みんなで勉強」では、「三匹のこぶた」を短く編集した動画を視聴する時間を設定することで、児童の興味をひくようにする。また、プレゼンテーションを使って物語の中のイラストにアニメーションを付けて提示し、文章を簡単にして抑揚を付けて読み聞かせを行い、ストーリー展開に見通しがもてるようにする。場面の切り替えには音楽を流すことで児童の注目を促す。その後、「わら」「木」「レンガ」の具体物を使って動作化を行い、指導者の読み聞かせや、手本の動画を手掛かりに一場面ずつを動作化していくようにする。話の流れが分かってきたら、役割を決め、話の展開に合わせて具体物を操作し動作化することで触感を大切にしながら学習を進めるようにしたい。「一人で勉強」では集団学習の内容を補うための課題や、児童の実態に合わせて年間を通して国語や算数に関する基本的な力を身に付けられるような課題を設定し、指導者と一対一で繰り返し学習できるようにする。

5 目 標

- ・簡単な物語を聞いて、話の場面を表現したり選択したりすることができる。

6 学習指導計画（全 12 時間）

- 第 1 次 お話を聞いて答えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間
 第 2 次 お話を聞いて、やってみよう（イラスト操作）・・・・・・・・・・ 4 時間
 第 3 次 お話を聞いて、やってみよう（具体物を使って）・・・・・・・・・・ 6 時間（本時 5/6）

7 本時の学習指導

(1) 目 標

- ・簡単な文章を聞いて、イラストカードで表現したり、具体物を使って動作化したりすることができる。

(2) 準備物

テレビ、パソコン、スケジュールカード、約束カード、花丸、イラストカード、実物模型（わら、木、レンガ）、個別課題

(3) 学習指導過程

学 習 活 動	活動機会・支援環境・授業展開の工夫
1 学習の約束を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組むことができるように、号令係を G 男，テレビのスイッチ係を N 男，スケジュールを貼る係を K 男，L 男に設定する。 ・「しずかに」「すわる」の約束を確認する。確認する際には、それぞれの児童の様子を見ながら声を掛け、姿勢を正して、静かに話を聞くことができるように促す。
2 読み聞かせを聞いて、表現をする	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもって聞くことができるように、プレゼンテーションを使ってお話の読み聞かせを行う。 ・児童の興味を引きつけるために、場面の切り替わり部分では音楽を流す。 ・読み聞かせの際には言葉と動き、言葉とイラストを結び付けられるように、キーワードとなる単語を強調したり、身体表現や指差しをしたりする。 ・児童が画面に集中できるように、児童の様子を確認しながら、抑揚や間に気を付けて話を進める。 ・児童が興味をもって活動できるように、「わら」「木」「レンガ」の実物を使って、体感しながら内容の場面を表現できるようにする。 ・児童が意欲的に活動に取り組めるように、どの登場人物の役割をしたいかを選択する機会を設ける。 ・どの役割の動きを行うのが意識できるように、登場人物のカードを用意し、身に付けられるようにする。 ・児童が見通しをもって活動できるように手掛かりとなる手本動画を提示する。 ・簡単な文章で場面を表現し、児童の理解に合わせて場面ごとに区切って話を進めて行く。 ・児童の思考をする場面を設けるために、動画を一部分隠すこと
(1) 読み聞かせを聞く	
(2) 具体物を使って表現する	

3 個別課題を行う		<p>で、読み聞かせの言葉を聞いて動作化できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストと実物を結び付けられるように、具体物と一緒にイラストカードを提示しておく。 児童の学習の実態に合わせて、2 グループに分かれて個別学習を行う。(以下、重点課題のみ表記) 自立課題と支援課題を組み合わせて行い、自立課題については児童の様子を見ながら必要に応じて支援を行うようにする。支援課題については、理解が深まるように指導者とやり取りしながら行えるようにする。 	
T1	G 男 (3年)	(自立課題) ・身近な動きの言葉とイラストのマッチング	・動きの言葉が書かれたカードに音声ペン用のシールを貼り、音声を聞いて、様々な動きを表したイラストの中から適切なものを選べるようにする。
		(支援課題) ・物語に登場する物の名称や動きの言葉とイラストのマッチング	・文字が書かれたカードに音声ペン用のシールを貼り、音声を聞いて、適切なイラストを選べるようにする。間違っただけの場合はイラストの選択肢を減らして提示したり、指導者が動作化して伝えたりし、選択できるようにする。
	K 男 (4年)	(支援課題) ・物語に登場する物の名称とイラストのマッチング	・物の名称を書いたカードに音声ペン用のシールを貼り、音声を聞いて適したイラストを選ぶようにする。文字も手掛かりにできるようにイラストの下にも文字を表記しておく。選択できない場合には選択肢を減らして提示する。
		(自立課題) ・数字を見て具体物を数えて取る	・1から5までの数字の書かれた枠を用意し、指定された数だけチップを枠の中に並べて、個数を確認してから、数字の書かれたカードに貼っていくことができるようにする。
T2	L 男 (5年)	(支援課題) ・物語に登場する物の名称とイラストのマッチング	・平仮名で書かれた物の名称を読み、適切なイラストを選べるようにする。選択が難しい場合には、指導者が一文字ずつ指さして声に出すよう促したり、指導者が読み上げたりして選択できるようにする。
		(支援課題) ・イラストを見て数字を数える(1~3)	・指導者の指さしに合わせて数を数えたあと、対応する数字カードの枠の中に貼るようにする。慣れてきたら、指導者の指さしをやめ、自分で数えられるようにする。
	N 男 (6年)	(自立課題) ・5×5のマトリックス	・マトリックス盤の縦(物)、横(色)の表札を見て、正しくカードを置くことができるようにする。貼る場所を覚えてしまわないように、毎回表札の場所を変えるようにする。
(支援課題) ・物語に登場する物の名称とイラストのマッチング		・物の名称を書いたカードに音声ペン用のシールを貼り、音声を聞いて、適切なイラストを選べるようにする。自分で聞いて選択が難しい場合には、指導者が読み上げたり、イラストの選択肢を減らしたりし、選択できるようにする。	

(4) 評価規準

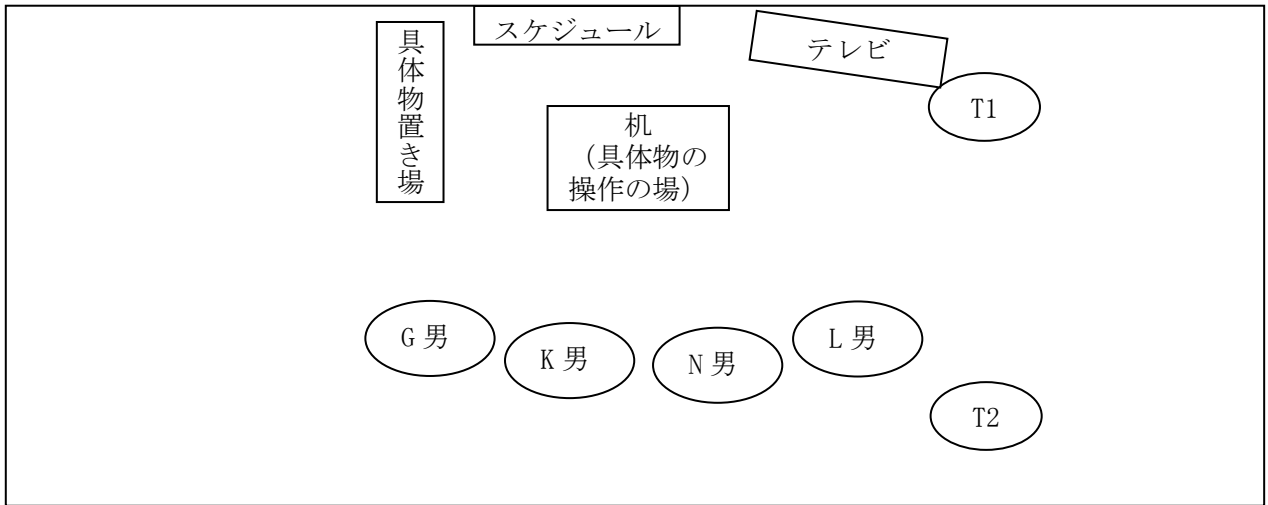
- ・名詞や動詞の言葉を聞いて、適切なイラストと結び付けることができる。(知・技)
- ・簡単な文章を聞いて、イラストを選択したり動きで表現したりすることができる。(思・判・表)
- ・好きな登場人物の動きを進んで表現しようとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

資料1 個の実態及び目標

氏名	個の実態	個の目標(評価規準)
G男 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を理解することは難しいが、身近な物の名称を聞いて、それに適したイラストを選択することができる。 ・繰り返しのある簡単な物語の内容を聞いて、適切なイラストを選ぶことができるようになった。 ・好きなキャラクターなどを自分で作って見立て遊びをすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声ペンを使って名称を聞き、文字とイラストをマッチングさせることができる。 ・簡単な文章を聞いて、イラストを貼ったり具体物を組み立てたりして場面を表現することができる。 ・自分の役割を選んで、具体物を使って表現しようとする事ができる。
K男 (4年)	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して見ることに課題があるが、分かりやすいイラストのマッチングなどは行うことができる。 ・身近な物の名称を聞いて選択することはできるが、動作語の理解は難しい。簡単な動きなどは手本を見て真似しようとする事ができる。 ・物語に興味を示すことは少ないが、特定の好きなキャラクターがあり、図鑑などを見ることを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言葉を聞いて、適切なイラストや実物を選ぶことができる。 ・手本の動画を見て、簡単な動きを真似することができる。 ・自分の役割を選んで、具体物を操作しようとする事ができる。
L男 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・一文字ずつ文字を読んで身近なものやマッチングさせることができる。 ・簡単な文章の中の単語を聞き取り、適切なイラストを選ぶことが増えてきた。 ・集中力が持続しにくい、家庭などでは好きな絵本があり、自分で読んで楽しむこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言葉を聞いて、適切な実物を選ぶことができる。 ・手本の動画を見て、動きを真似して具体物を操作することができる。 ・話の内容に興味をもって、意欲的に活動に参加し、表現しようとする事ができる。
N男 (6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの単語を見てマッチングしたり、名称を聞いてイラストや具体物を選択したりすることができる。 ・簡単な文章を聞いて、それに合った適切なイラストを選ぶことができるようになった。 ・特定の好きなキャラクターがあり、名称もよく覚えている。本を見ることは少ないが動画はよく見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声ペンで名称を聞いて、それに合うイラストを選ぶことができる。 ・簡単な文章を聞いて、イラストを貼ったり具体物を組み立てたりして場面を表現することができる。 ・自分の役割が分かって、表現しようとする事ができる。

資料2 座席表

<学習活動 1, 2>



<学習活動 3>

